

ひがしそのぎ



平成22年
9月
平成22年9月15日発行
No.516

特集

- 農作業中の火災に御注意を…………… 2～3
- 消防団第6分団ポンプ操法大会出場 4～5
- 特定健康診査を受けましょう…………… 9

「火点は前方の標的」

長崎県消防ポンプ操法大会が8月8日、県消防学校で行われ、東彼杵町消防第6分団が東彼杵郡代表として出場しました。

今年の夏は暑い日が続きましたが、ここにも消防にかけるあつい思いがありました。関連記事は4～5ページに掲載。(写真は、8月22日行われた町消防団夏季総合教育訓練において、操法を披露する消防団第6分団の選手たち)

農作業中の 火災に御注意ください

町内での火災は過去10年間（平成12年度～21年度）で42件発生しており、5月・10月・11月で全体の約半数の火災が発生しています。

5月・10月・11月は農繁期にあたり、農業のため雑木・雑草の焼却をしていた火が飛び移り、火災となるケースが多いようです。雑木・雑草の焼却をするときは、十分に注意し、完全に火が消えるまでその場所を離れないようにお願いします。

火災予防のポイント

- ① 風が強く、乾燥した日の焼却は避ける。
- ② 燃え移りやすい結草・枯葉のそばでは焼却しない。
- ③ 消火用の水を用意しておく。

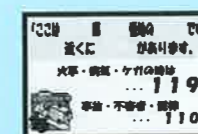
東彼杵町消防団 口木団長



雑木・雑草の焼却は、原則として禁止されています。農業時の焼却は例外的に認められていますが、燃やすときは一度に燃やすのではなく数回に分けて燃やしたり、消火用の水を用意するなど、注意して自分で責任をもって行ってください。
消防団としては火災予防週間などに合わせて、今後とも注意を行っていきます。

女性消防団のみなさん

消防車や救急車を呼ぶときには、慌てず落ち着いて「119番」をお願いします。イザというときにも落ち着いて行動できるように「緊急時連絡カード」をつくりました。電話機の近くなどに置いておけば、緊急時でも慌てずに行動できると思います。御希望の方は役場総務係までお願いします。



▲緊急時連絡カード



町消防団夏季総合教育訓練

東彼杵町消防団夏季総合教育訓練が8月22日、新港グラウンドで行われました。

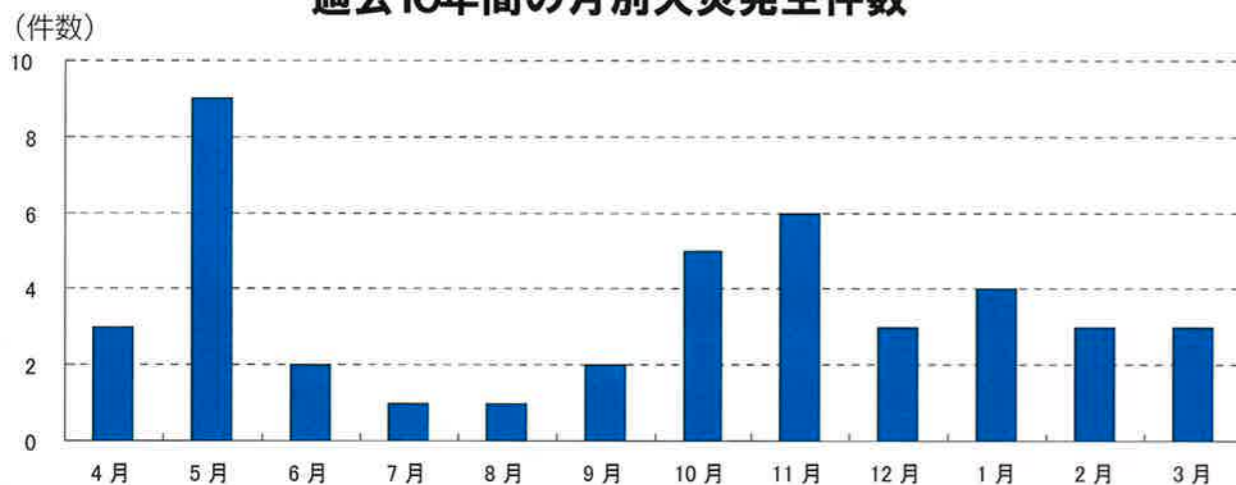
訓練には口木団長以下262人が参加し、各分団ごとに放水訓練や通常点検など、きびきびとした動作で行いました。

訓練は、佐世保市消防局東消防署東彼出張所署員が採点。

その結果、放水訓練は第4分団、通常点検は第8分団が優勝。また、放水訓練指揮者の部では、第3分団の佐藤隆之さんが最優秀賞に輝きました。



過去10年間の月別火災発生件数



花火大会でも、がんばっています。



8月16日行われた、納涼花火大会。「もしも」の時のために大会終了まで待機して頂いている消防第7分団の皆さん。
花火大会には、毎年第4分団と第7分団の団員の方が交代で待機しています。
花火大会の成功のため、陰ながらがんばっている消防団の皆さん、ありがとうございます。

第30回長崎県消防ポンプ操法大会

東彼杵消防団第6分団出場



長崎県消防ポンプ操法大会が8月8日、長崎県消防学校（大村市）で行われました。2年に1度開催されるこの大会には、小型ポンプ操法の部に県内から12チームが出場。東彼分会（東彼杵郡）代表として出場した東彼杵町消防団第6分団（菅無田・坂本・中尾・太ノ原で構成）。

東彼分会では、ポンプ操法大会に出場する消防団を三町持ち回りで決めており、東彼杵町からは6年ぶりの出場となりました。消防団員は、佐世保市東消防署東彼出張所署員の指導のもと、6月から練習を開始し大会に臨みました。

大会は、4人一組（指揮者、1番員、2番員、3番員）となり、指揮者の指示のもと、小型ポンプからホース3本を連結し、火点に見立てた標的を倒し、そのタイム及び節度を競いました。

結果は、優勝こそはおしくも逃しましたが、団員の結束は十分に高まったようです。

（敬称略）

分団長 二瀬 健治



“いざとなったら、心は一つに!! やって見せよう、我らが六分団”この言葉を胸に練習を積み重ねてきました。大会の結果よりも、団員同士の結束が強くなったことが大きな財産になりました。

指揮者 喜々津 雄一



大勢の人の前で緊張しましたが、練習以上の力が出せました。100点満点です。

この大会に出場したことで、分団としての団結は深まりました。今後とも力を合わせてがんばっていきます。

1番員 高坂 善男



6月から練習を始めましたが、短い期間で集中してできました。本番は練習の成果を十分に発揮できたと思います。みなさんの温かい声援のおかげです。応援ありがとうございました。

2番員 岩永 貴雄

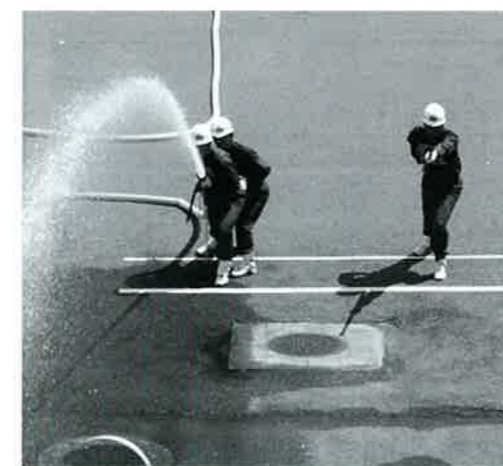


今は、無事に終わることができ、感無量です。大会は自分たちだけでは何もできません。団員や町民の方の応援やサポートがあったからこそここまでできました。ありがとうございました。

3番員 中山 雄太



練習でやってきたことはできました。ミスはなかったですが、80点くらいです。消防団に入団して5年目ですが、貴重な体験をさせていただきました。これからもがんばっていきます。





街のあちこち

大勢の人で賑わった納涼花火大会

東彼商工会（東彼杵支所）主催による「第41回東彼杵町納涼花火大会」が8月16日、彼杵新港埋立地をメイン開場として行われました。

町内外から訪れた大勢の観客は、打ち上げ花火や水中花火、仕掛け花火など夜空に咲く大輪の花に観せられ、東彼杵町の『夏』を楽しんでいました。

また、よさこい隊の演舞や小学生による「キャリアカー引きレース」・「水風船キャッチング」などのイベントも行われ、祭りを盛り上げていました。



そのぎシーサイド公園に新遊具を設置



町はこのほど、そのぎシーサイド公園（蔵本郷）に6歳未満の子どもが遊べる遊具を設置しました。

この遊具は、一般の方から町への寄付により設置できたもので、「滑り台」や「ゴム遊具」など合計3点を設置しました。遊ぶときは、大切に扱ってください。

また、小さいお子さんを遊ばせるときは、保護者の目の届く範囲でお願いします。

「男性料理教室」開催

男性料理教室が8月20日、町総合会館で開催されました。

教室は8月から11月まで合計4回開催される予定で、今年で7年目を迎えました。当日は14人が参加し、豚肉のしょうが焼きや酢の物、みそ汁などの料理に腕をふるいました。

参加者は「初めての参加ですが、がんばります。家庭で作るみそ汁はみそを入れすぎ、塩分をとりすぎてしまうので、分量どおり作ります。」と話してくれました。



長崎KSC 全日本中学生ソフトボール大会優勝

第10回全日本中学生男女ソフトボール大会（男子の部）で長崎KSCが、日本一に輝きました。長崎KSCには、千綿中学校の3人が所属し、土・日曜日を中心に練習をがんばっています。

村江 隼基君（写真中央・千綿中3年）「大会はあっという間に終わりました。次の目標は、大村工業に進学し、高校でも全国制覇することです。」

児玉 哉太君（写真右から2番目・千綿中2年）「大会はきつかったけど、楽しかったです。次のキャプテンを任されることになったので、チームをまとめていきたいです。」

藤原 功大君（写真一番右・千綿中1年）「ベンチで応援でしたが、大きな声を出してがんばりました。守るのが得意で、これからの練習もがんばっていきます」と話してくださいました。



九州新幹線(西九州ルート)安全祈願祭



九州新幹線（西九州ルート）の彼杵・三ノ瀬・塩鶴トンネルなどの安全祈願祭が8月4日、八反田郷の彼杵トンネル掘削工事現場で行われました。祈願祭には、工事関係者など約80人が出席し、工期中の安全を祈りました。工事は、平成26年3月までの工期となっています。

西九州ルートが完成すると、長崎駅から博多駅までの平均所要時間が、現行の特急かもめと比較すると41分の短縮になると試算されています。（長崎新幹線建設期成会による試算）

西九州ルートのルート概要

